

第 1 回「アオキ地域社会貢献賞」表彰式が行われました

5 月 28 日（水）、石岡市ふれあいの里ひまわりの館で、「第 1 回アオキ地域社会貢献賞」の表彰式が行われました。



同賞は、創業 130 周年の節目に、永年当社を支えていただいた地域に利益の一部を還元し、ボランティア活動を続けている団体や個人を顕彰するものです。第 1 回目の今年は、「石岡市シルバーリハビリ体操指導士会」が選ばれました。

同会は、2006 年に発足以来、高齢者のリハビリテーションのための体操を会員 136 名が指導。昨年度は 66 教室で年間 1153 回の体操を実施。延べ 1 万 7160 名に及ぶ参加者に指導しています。なお、2019 年のピーク時には延べ 3 万 2000 名が参加しています。



表彰式には、受賞団体の代表者 6 名を始め、石岡市社会福祉協議会の事務局長及び担当係長、石岡市広報課のほか、茨城新聞の記者が出席。当社から、青木常務、林部長（司会進行）、眞家課長、田崎顧問が列席しました。

冒頭に田崎顧問より「アオキ地域社会貢献賞」創設の背景やいきさつなどが説明されました。

アオキを代表して、青木常務は次のように挨拶をしました。

「創業 130 周年を迎えるにあたり、地域の皆様への感謝の気持ちを形にするため、アオキ地域社会貢献賞を創設しました。創設に際しては、自己満足や企業の宣伝にならないかという議論もありましたが、少しでも地域貢献活動の支えとなるならば意義があると判断し、実施に至りました。今回応募いただいた 8 団体の皆様に感謝申し上げると共に、特に受賞された石岡市シルバーリハビリ体操指導士会様の積極的な活動に敬意を表します。今後もこの賞を通じて地域福祉の発展に寄与できれば幸いです」



茨城新聞と石岡市広報課のインタビューを受ける青木常務

続いて、表彰に移り、石岡市シルバーリハビリ体操指導士会会長の酒井保様に表彰状が手渡されました。なお、この表彰状の額は当社のペアガラスを使用。ビルテクノの技術陣が製作したものです。



記念品として、特製の提灯が副会長の皆藤弘寿様に、副賞の 30 万円が武川幸江様に手渡されました。



受賞者を代表し、酒井会長は同会の活動内容を紹介し、「私たち指導会は、“住民が住民を助ける”ことを理念として、超高齢化社会における介護予防と健康長寿を願いつつ、これからも活動をしていきたい。今後のアオキ様のますますのご繁栄を祈念いたします」と述べられました。



社会福祉協議会事務局長の加藤乃利明様は次のように祝辞を述べられました。

「昨年 3 月にアオキ様からご提案があり、行政と社協と民間企業との共同事業という形で推進し、本日の表彰式を迎えることができました。予想を上回る 8 団体から応募がありましたが、シルバーリハビリ体操指導士会の活動は、石岡市の高齢者の健康増進に大きく貢献していただいています。このような賞を創設していただいたアオキ様には、深く感謝申し上げます」



その後、記念撮影が行われ、受賞者の皆様は誇りに満ちた笑顔を見せていました。

